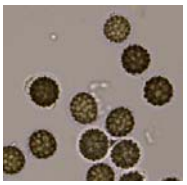


# コムギなまぐさ黒穂病菌を減らすには

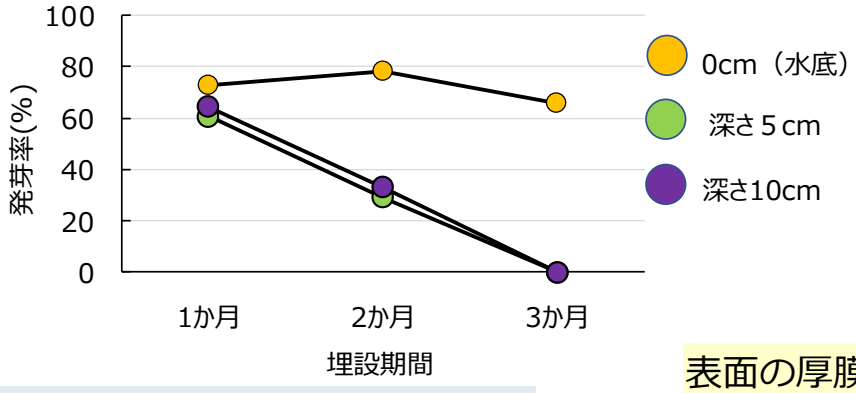
## 水田化による低減効果と堆肥化の死滅温度

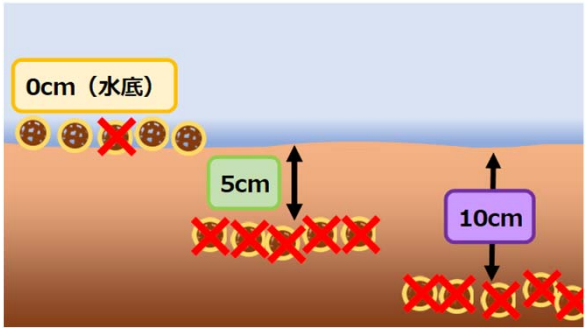
### 概　要 Abstract


- 水田化は、なまぐさ黒穂病の厚膜胞子の密度低減に有効です。
- 堆肥化する際の厚膜胞子の死滅温度は、40℃10日、50℃3日、60℃1日です。


### 成　果 Results

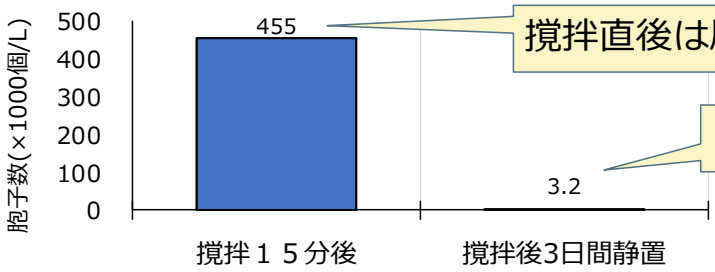
○水田化すると、土の中の厚膜胞子が減ります




表面の厚膜胞子は残るので注意してください

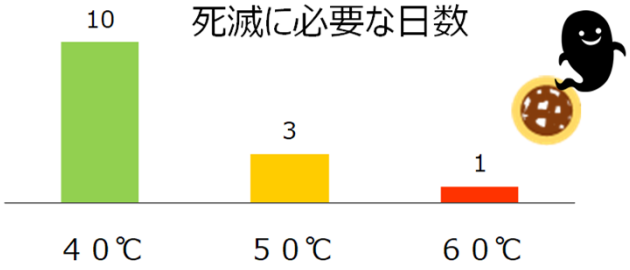
○水を落とすときは土が沈んでから




撹拌直後は厚膜胞子が水とともに流出

土が沈んで水が澄んでいれば流出はわずか

○堆肥化の死滅条件は40℃10日、50℃3日、60℃1日です




### 普　及 Dissemination

- 本対策を行った場合でも、小麦を栽培する際には適切な防除対策を実施してください（R3年・普及推進事項）。
- 本成果を反映した「コムギなまぐさ黒穂病 Q＆A」の完結版を令和４年２月に公表しました。
- この研究はＪＡグループ北海道「北海道産麦生産流通安定対策事業」の支援を受けて実施しました。


### 連絡先 Contact

中央農業試験場
病虫部 予察診断グループ
０１２３－８９－２００１
central-agri@hro.or.jp